

(一財) 松本ものづくり産業支援センター

NEWS

ものづくり産業支援の
ワンストップサービスを
目指します

第7号

令和3年7月発行

2020年12月11日
コロナ禍だからこそその挑戦！
ピンチをチャンスに変える経営戦略セミナー

JR松本駅東西自由通路ギター展示



子どもプログラミング体験教室

WEB

コロナ禍の今、
ご自身の会社は最大限に活用していますか？
**中小製造事業者向け
マーケティングセミナー**

5/13 木 15:00~16:30
開催/ オンライン
zoom (zoom ミーティングによる配信)

申し込み 右記 URL、もしくは二次元バーコードを参照のうえ、
申し込みフォームより申し込みをお願い致します。

締切 5/12 木 12:00

ウェブを使った販路獲得・受注獲得のノウハウ
対面販売、営業ができない現状において必要な web 活用
• HP はなぜ必要？ HP の存在意義
• 自社の HP、web 戦略において必要な項目や見せ方
• 販路開拓、新規顧客を獲得していくためのヒント
活用できる支援策、補助金
質疑・応答

参加費 無料

講師紹介
高見康昭氏 株式会社松本駅東西自由通路センター 代表取締役
高見康昭氏より講演内容 テーマ「マーケティング」
経営、マーケティング、営業、IT 活用戦略に関するセミナー。
本セミナーは、令和3年5月13日(木)15:00~16:30に開催予定です。会場はオンライン配信。
参加費は無料です。申し込みは、本セミナーの申し込みフォームからお願いいたします。
お問い合わせ サザンゲ TEL:0263-330330 E:maifan@33gaku.jp
主催 サザンゲ (一財)松本ものづくり産業支援センター
開催 松本市、一般社団法人長野県振興サービス協議会



目次

- 1 アドバイザー・コーディネーターの紹介 3P
- 2 ものづくり支援担当活動トピックス..... 4~8P
 - 杉本 守 アドバイザー
 - 相吉 一浩 コーディネーター
 - 野尻 和彦 ICTコーディネーター
- 3 サザンガクからのお知らせ 9P
- 4 関係機関 10~15P
 - (1) 松本市 (商工課 工業振興担当、健康産業推進担当)
(農政課マーケティング担当)
 - (2) 松本商工会議所 (経営支援部 ものづくり支援グループ)
 - (3) 信州大学 学術研究・産学官連携推進機構
 - (4) (公財) 長野県テクノ財団
アルプスハイランド地域センター

アドバイザー・コーディネーターの紹介

専門性の高い5名（ものづくり支援担当4名、ICT支援担当1名）のアドバイザー・コーディネーターを配置し、地域の中小製造業の皆様へのきめ細やかな支援を実施してまいりますので、ご活用ください。

ものづくり支援担当



杉本 守 アドバイザー

得意分野

松本市工業ビジョンの推進事項である、①健康・医療分野、②食料品製造分野、③産業用ロボット等の高度な産業用機械分野の推進に向け、当分野に関わる企業の皆様の課題・ニーズを重点的に聞きながら経営力向上に向けた支援を行います。

主な支援内容

- ①経営力向上に関わる支援全般
- ②革新的技術開発支援
- ③各種技術開発支援制度の申請支援
- ④ビジネスマッチング支援



豊口 稔 コーディネーター

得意分野

松本市工業ビジョンの3つの推進事項の重点的な推進を念頭に、企業の皆様と課題を共有して、商品開発から販路拡大まで支援を行います。引き続き本年度も、6次産業化・農商工連携を重点として、関連する課題に取り組んで参ります。

主な支援内容

- ①企業間の強みを結びつけ、新価値創造を支援
- ②食品産業の商品開発・販路開拓支援
- ③各種展示会出展支援、新規市場開拓支援
- ④伝統産業などの販路拡大支援



広橋 修 コーディネーター

得意分野

松本市工業ビジョンが示す「松本市の特性を生かした新たな活力の創造により高い競争優位性を持った地域」を目指し、3つの推進事項を推進するため、最もベースとなる「人材」と「現場力」・「製品力」の強化に向けた支援を行います。

主な支援内容

- ①製造拠点の現場力強化(QCD+PSME)支援
- ②製品力強化(新技術・新製品開発、ビジネスマッチング)支援
- ③次世代を担う、ものづくり人材の育成支援



相吉 一浩 コーディネーター

得意分野

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、多くの企業が業態を変革し、生き残る道を探さなければならない時代、自分自身も常に新たなことにチャレンジし、地域企業の皆様と、世の中にない製造現場を目指し、その先にはそれぞれの企業のお客さまの期待を超える、新しい価値創出の実現に向けて、支援してまいります。

主な支援内容

- ①IE技術を活用し、製造力強化(工場／工程設計、自動化／合理化／省人化等)支援
- ②次世代ものづくり人材の育成
- ③企業連携による、新たな価値創出に向けた支援

ICT支援担当



野尻 和彦 コーディネーター

得意分野

日々進化し続けるICT(※)にキャッチアップしながら、ICTを活用していかに企業活動を支えていくかを追求いたします。そのために、企業内及び企業外からICTを活用できる人材を育成していくことを支援していきます。

用語が専門的で敬遠しがちな方こそ、お気軽にお問い合わせください。

※ICT(情報通信技術): Information and Communication Technology

主な支援内容

- ①経営者向け、一般職員向け、中高生向けなど、対象別にセミナー、研修会等開催
- ②サザンガクにおける企業活動の活性化及び起業、創業、事業発現支援
- ③ICTの導入・活用による経営の高度化支援
- ④ホームページ診断、ホームページの開設、ウェブショップ開設など、ICT関連の支援
- ⑤ウェブやメールによる各種施策、研修会情報等の情報発信、情報提供など

ものづくり支援担当活動トピックス

杉本 守 アドバイザー

重点支援産業分野の推進：産業用機械分野

産業用ロボット等高度な産業用機械分野の重点的推進を図るため、中南信地域ロボットシステムインテグレーター及び当地域産業支援団体を中心とした「中南信自動化支援準備研究会」の活動報告を行い、中南信自動化推進協議会設立に向けて当地域産業支援団体による事務局会議を開催、協議会の基本コンセプト及び枠組みを決めてきました。今後本協議会設立に向けた地域連携体を「中信地域自動化推進ネットワーク」と称することとし、（公財）長野県テクノ財団アルプスハイランド地域センター、（一財）塩尻市振興公社、（一社）あすみ野産業振興支援センターと連携し、講演会・セミナー等開催による普及啓発事業、導入検討企業への専門家派遣事業など、地域特性に合った支援事業を具体化し、実効性のあるネットワークの基盤づくりを行っていきます。

2020年度に行った事業

FAプロダクツ講演会

スマートファクトリーに向けた自動化のステップ

講演者：株式会社FA プロダクツ 代表取締役社長 貴田義和様

日時：2020年11月18日 15：00～16：30

主催：松本地域産学官連絡会 共催：中南信自動化推進協議会（仮称）設立事務局

方法：オンラインによる講演会

参加人数：合計50名

ロボット展示・研修事業

「見て動かして、新たな発想のお手伝い（No.1）」として、ロボットシステムインテグレーターである（株）サイクス様（塩尻市）のご協力を得て、参加された中小企業様の困っていること・課題をお聞きすることがまず大事であるという基本コンセプトの下、ロボット4台の展示とフリーディスカッションの場を設け、中南信企業5社が日を分けて参加されました。

2021年度の事業予定

中信地域自動化推進ネットワーク参加企業募集スタート

3部会（導入部会、自立化部会、Sler部会）構成

※部会への参加費は無料（各種セミナー、研修等は個別に案内）

他、当ネットワーク参加企業の課題・ニーズをお聞きしながら、当地域にマッチした事業を企画していきます。

自動化推進セミナー&研修等各種支援事業予定

- ・ 工程改善セミナー（導入編） 7月12日（月）、7月16日（金）
- ・ からくりセミナー&デモ 8月24日（火）
- ・ 自動化事例セミナー、技術者向けセミナー等

相吉 一浩 コーディネーター

事例の紹介

金属部品加工 「O社」で、 クリーン化技術について プチ勉強会開催

新たな事業展開として、加工エリアをクリーン化したいというニーズに対し、クリーン化とはどういうことか？どうすべきなのか？について、クリーン化技術の基礎に関するプチ勉強会を開催しました。

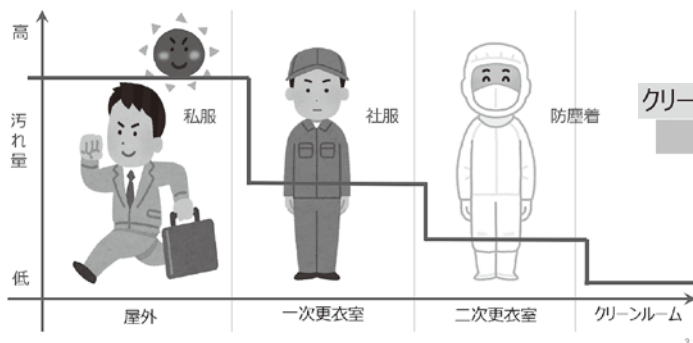
クリーン化の目的から始まり、ゴミはどこから来るのか？そしてクリーンルームの構造やポイントなどについて理解を深めていただきました。（以下一部資料）

その後実際に、現状での製造現場におけるクリーン度調査も行い、現場環境の再認識をした上で、どのようなクリーン化を進める事が良いか？コストミニマムで実現可能な方策について、検討を行いました。

クリーン化の基礎

E&E Solution

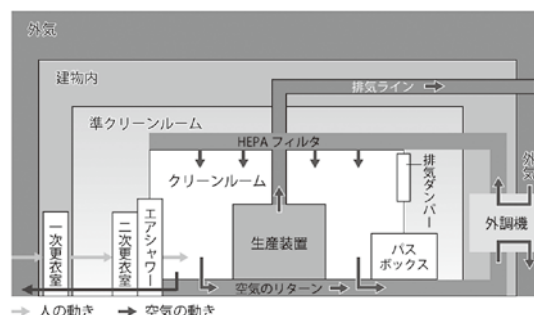
目的



クリーン化の基礎

E&E Solution

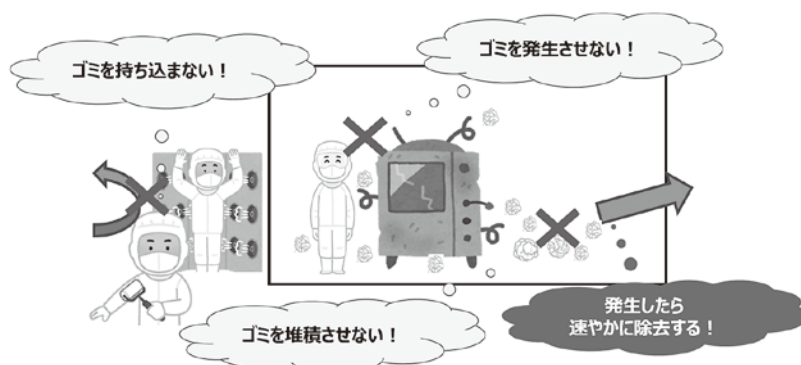
クリーンルーム



クリーン化の基礎

E&E Solution

クリーンルームの4原則



中小企業への ロボット導入に 関しての考察

昨年1年間の自身の活動を振り返り、なぜ中小企業へのロボット導入が進まないか？について考察を行いました。（以下は考察資料の抜粋）

今までのRB導入に関する考え方はどうだったか？

- ・RBそのものが国産のものは高額で、成功体験を得ているのは大抵が大手企業、その大手企業のロジックで中小企業に導入支援をしても、そもそも置かれている立場が違い過ぎる
- ・多品種少量生産で、高額なRB導入をしても、生産数が少なく投資回収が難しい（生産数の少なさは大企業の比では無い）
- ・開発期間で見ても、高額な設備投資には、社内の稟議決裁に時間がかかり、変種変量の体制にミート出来ない
- ・そもそも人件費が大企業と比較して低い
- ・また、ソフト開発においても、専門外注や各社各様のRBプログラム開発が必要で委託しなければならず、時間もコストもかかる
- ・RB技術と言う専門技術に対応出来る、専任メンバーの用意が難しい
- ・RB導入が、現場の問題意識と繋がっていない

現場でホントに苦しんでいる人の声が、上手く吸い上げられていないのが実態で、会社トップからの「天の声」的な働きかけや、現場を知らない生産技術屋の理想の提案など…



このような状況だとすると、永遠に導入は進まない。しかし、状況は厳しく、生産年齢は確実に減少し、人手不足は加速するし、世界の中での日本の生産性は非常に低い。

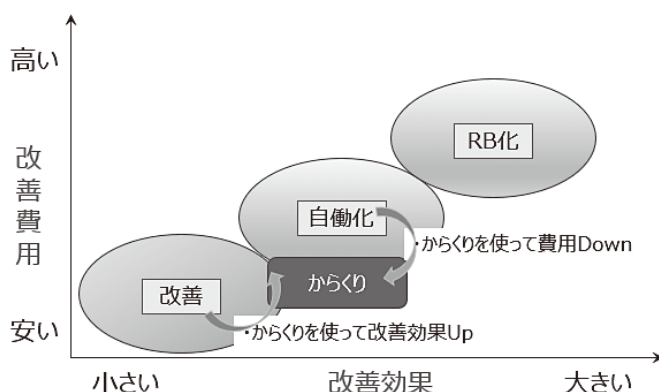
そうすると、救世主として考えられるのはロボット化のように思えるが、これまで支援してきた企業の実態を観察すると、ロボット導入以前にやるべきことがあることに気付いた。

1つは、下図に示すような枠組みを意識して取り組むことで、ロボット導入前にかかなり高いレベルの生産性が低コストにて実現出来ると思われるし、最終的には、ロボット導入にも繋がっていくはずである。

もう1つは、ローコストロボット導入についての検討である。今は、10万円台で導入出来るものが出ており（例：中国製/Dobot Magician）、精度や機能はレベルが低いが、現場に導入する際に、イレクターパイプを使った改善やからくりの導入の延長線として、現場の改善能力を駆使することで敷居を下げられると考える。

メリット/デメリットをしっかりと把握することで、活用の道が開けると思う。

これらを常に念頭に置き、現場密着での活動を繰り返す事で、少しずつ動きが出て来るのではないかと期待している。



野尻 和彦 ICTコーディネーター

熱意と工夫で君も将来のプログラマーだ！ ～子どもプログラミング体験教室～

「児童・生徒向けのICT教育の充実」を目標として、2020年12月と21年2月に、2回4講習の「子どもプログラミング体験教室」が開催されました。講師は、信州大学工学部不破泰教授（当時）で、対象は、小学5年生から中学生まででした。

講義は導入として、総務省制作のビデオ「5Gでつながる世界」（※文末URL参照）を見ました。ICTが広く使われるようになった日本社会の近未来のイメージビデオです。自動運転のタクシー、遠隔診療、同時通訳など、これらを実現しているのはプログラミングであることをまず気にとめておいてもらいます。

次に、「家の中にはいくつコンピューターがありますか？」という質問が参加者に投げかけられます。5台、10台。いえいえ、50台から100台位あるのではないかとことです。コンピューターとして形が見えるものとしてデスクトップPCやノートPCの他に、今やひとりに1台となったスマホも立派なコンピューターです。さらに、テレビや冷蔵庫、洗濯機、電子レンジなど家電製品にもコンピューターが内蔵

されています。テレビのリモコンにも小さいながらコンピューターが内蔵されていますし、自動運転ではないにしても自動車には10個から20個も内蔵されているのです。

これらコンピューターを動かすのがプログラムで、プログラムを作ることがプログラミングということになります。プログラムがなければコンピューターはただの箱なのです。

今回の体験教室は、BASICという文字を直接入力してプログラムを作っていきます。

新型コロナウイルス感染対策のために家庭学習を基本としましたが、初回講習は機器の接続と動作確認、中間講習は質疑応答を中心に短時間での対面講習としました。およそ1ヶ月後には成果発表として、作成したプログラム「3分タイマー」をビデオで撮影して動画を提出していただくこととしました。それまでは、掲示板を通じての質疑応答となります。



成果発表として提出されたタイマーは、

- 計測する時間を指定することができる
- 10秒ごとに短い音をならす
- 時間が来るとメロディーが流れる
- カウントダウンタイマーに変更する
- ボタンを押すまで鳴り続ける
- ゲームをクリアしないとブザーが鳴り続ける

それぞれ、非常に工夫を凝らした自分なりのタイマーを完成させることができました。

最初は、キーボードから一つ一つキー入力をしなくてははいけないことに戸惑いがあったり、時間がかったりしていましたが、例題を自分なりのアイデアで改造して、世界に一つの自分のタイマーを完成させました。

文字一つ、記号一つを間違えるとプログラムが全く動かなかったり、思った通りに動かなかったり、難しさや奥深さを感じてくれたものと思います。それでも、一度完成すると、こうしたい、ああしたいとアイデアがどんどん出てきて、工夫して自分だけのタイマーを完成させた参加者は、プログラマーの一步を踏み出したのかもしれない。アンケートで希望者が多かった発展版の講習も計画していますので、楽しみに。

※1 <https://youtu.be/ArRWXopUHAQ>

【イメージムービー】Connect future ~5Gでつながる世界~ (3分ver)

※2 <https://youtu.be/ushSdmYtzmU> (上記ビデオの技術解説)

明日から仕事の効率を格段にUP! Excel実務講座 令和2年度 第7回中小企業向けICT活用オンラインセミナー

中小企業向け人材育成事業として、「Excel実務講座」を行いました。NPOグループHIYOKOに講師をお願いいたしました。テーマは、関数を使うことにより、より効率的にExcelを使えるようにステップ・アップすることです。

ソフトウェアの実操作の講習の場合には、リアルな会場での参加者の理解度を確認した進捗管理やQ&Aなどが必要となりますが、今回は、あらかじめ用意・配布するテストデータや手順書を工夫することで、オンラインでも十分に講義ができることを実証できました。

リアルな会場とは違い、直接的に聴講者の反応を感じながら進めていくことができないというマイナス面もありますが、講座内で説明する関数を絞り込むことによって、聴講者の理解は深められたと評価できます。

講座後のアンケートにおいては、若干初歩的な傾向の内容だったという感想もありましたが、しっかりと理解できたという好印象の感想もありました。次回以降もデータ分析（ピボットテーブル）、データベース的な利用法、グラフ作成などExcelとしてはテーマがたくさんあるので、継続して実施していく計画となっています。

33GAKU
ワザガク

令和2年度 第7回中小企業向け ICT活用オンラインセミナー

明日から仕事の効率を格段にUP!

**Excel
実務講座**

普段Excelをどれくらい使用しています?
表に数字をまとめたり、簡単な計算をしたり、でももっと便利に
使いこなせたら業務改善に繋がりますの...
そんな風にお考えの方も多いかと思います。
そこで今回は、Excelの機能や代表的な関数の使い方を理解し、
実際に活用するためのスキルをセミナー形式でお送りします。
あらためてExcelについて基礎を復習したい方、
あまり使っていないがこれから業務に活用したい、
今後のキャリアアップに活かしたい方がおすすめです。

2月18日(木) 15:00~17:00

会場: ZOOM を使用したWEB講座

参加費: 参加無料

対象: 日常の業務でExcelを使っている企業の社員・事業主の方

締切: 2月17日(水) 12:00 ※応募多数の場合はその時点で締め切りとなる場合がございます。

内容: セミナーで学ぶ関数SUM, IF, SUMIF, COUNTA, COUNTIFなど、2013以降のExcelでござください

お申し込み

申し込みは、もしくは下記QRコードを印刷し、
申し込みフォームよりお申し込みください。
<https://bit.ly/3GK1BhA>
2021年2月14日(水) 15:00まで
TEL: 0263-33-4029 F: 0263-33-4030 E: info@33gak.jp

33GAKU

33GAKU

講師紹介

特定非営利活動法人グループHIYOKO
<https://www.hiyoko.or.jp/>

HIYOKO

HIYOKO

主催: サングク (一般財団法人松本ものづくり産業支援センター)

共催: 松本市、一般社団法人長野県情報サービス振興協会

8

サザンガクからのお知らせ

「サザンガク」は、「コワーキングスペース」「サテライトオフィス」「テレワークオフィス」の3つの機能を集約した「ICT拠点施設」として、松本市の「人」や「情報」が集積する中心市街地「大名町通り」に立地しています。コワーキングスペースでは、多様な職種、年代の人々が集まり、掛け合わせることで、新たなビジネスやイノベーションの発現を目指しています。年度当初は、新型コロナウイルス対策として緊急事態宣言発出地域からの利用を制限していたこともあり、ドロップイン（2時間500円）等の一時利用は減少した一方、月額利用のメンバーは増加し、会員登録数は延べ15名となりました。定期的にコワーキングスペースをご利用いただける方を増やしていくことで、コミュニティの形成やコラボレーションを促進していきます。また、コワーキングスペースでは、オープン当初から様々なセミナーやイベントを開催し、知識の共有や人材育成、拠点のPR等を行ってきました。

5月13日は、「中小製造事業者向けマーケティングセミナー」を開催しました。当日は、長野県よろず支援拠点チーフコーディネーターである高見氏から、販路獲得のためのWEB活用のノウハウを中心にオンラインにてご

講演いただきました。事前に参加者から寄せられた質問をピックアップしながら、コミュニケーションをとりつつ進行いただいたことで、高い満足度に繋がりました。サザンガクでは、今後も新型コロナウイルスの状況を注視しつつ、多様なイベントを開催していきます。

また、4月28日には、経済産業省関東経済産業局と松本市が「産業振興・経済活性化に向けた包括的連携に関する覚書」を締結しました。覚書の連携項目には、「サザンガクをハブとした新事業・イノベーション創出」も盛り込まれており、国としても当拠点に対して大きな期待を寄せています。今後は、同局と松本市、サザンガク（松本ものづくり産業支援センター）の各担当者によるワーキンググループを通じて、具体的な活動に繋がっていきます。



サザンガクでオンライン開催した関東経済産業局との覚書締結式

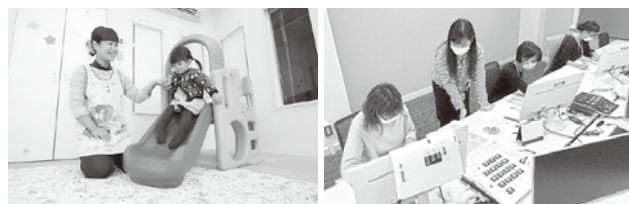
そのお悩み、お気軽にご相談ください！

データの入力作業、ホームページのリニューアル、動画の制作……社内で済ませたいけど人手が足りない。

そんなときは、サザンガクの「テレワークオフィス」におまかせください。「プライバシーマーク」を取得した万全のセキュリティ環境で、松本地域のバックオフィスとして、事業者の皆様のお手伝いをさせていただきます。

ワーカー募集

テレワークオフィスでは、ワーカーを募集しています。無料でご利用いただける託児サービスもご用意していますので、小さいお子さんがいる方でも安心して働いていただけます。まずはお気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ

33GAKU <サザンガク>

〒390-0874 松本市大手3丁目3番9号 電話: 0263-33-0339 メール: info@33gaku.jp

関係機関

(1) 松本市(商工課 工業振興担当、健康産業推進担当)

松本市では、松本市工業ビジョンのもと、「健康・医療産業」、「食料品製造業」、「産業用ロボット等の高度な産業用機械」等重点産業の推進や、ICTの活用促進、健康経営の推進等、松本市の製造業の活性化のための施策に、松本ものづくり産業支援センターと連携して取り組んでいます。

1.所在地・連絡先

商工課 工業振興担当、健康産業推進担当

〒390-8620 松本市丸の内3-7

TEL.0263-34-3270、0263-34-3296

FAX.0263-34-3008、0263-34-3297

Mail:shoukou@city.matsumoto.lg.jp、kigyou-r@city.matsumoto.lg.jp

2.業務内容

(1) 工業振興担当

- ・工業活性化の推進に関する事
- ・産学官連携事業に関する事
- ・経営近代化の推進に関する事
- ・工業団地の管理に関する事

- ・成長産業の育成に関する事
- ・企業事務所の誘致促進に関する事
- ・地場産業振興事業に関する事
- ・ICT人材育成プラットフォームに関する事

(2) 健康産業推進担当

- ・健康産業の振興に関する事
- ・松本ヘルス・ラボに関する事
- ・ヘルスケアサービス等の実用化支援に関する事

3.各種助成・補助制度

ものづくり事業者の皆さんへ様々な助成、補助制度を用意しています。詳細については、商工課工業振興担当までお気軽にお問い合わせください。

製造業等販路拡大支援事業補助金

展示会等の出展に際し、経費の一部を補助します。

限度額 国内25万円 海外50万円

ヘルスケアサービス等実用化検証事業助成金

健康維持・増進への寄与が期待されるサービス等の実用化を支援します。

助成率3/4 限度額100万円
1事業1年度1回、3回限度

製造業等活性化支援事業助成金

大学等研究機関との共同研究、異分野への進出など新たなチャレンジを支援します。

助成率1/2 限度額100万円 1事業1回

※重点的に育成を進めるべき産業分野の場合

助成率2/3 限度額200万円 1事業1年度1回、3回限度

ビジネスタイヤップ商談会事業

「諏訪圏工業メッセ」への出展料の一部を松本市が負担します。

諏訪圏工業メッセ 2020 10月15、16、17日

製造業等人材育成事業補助金

企業人材スキルアップのための研修費を補助します。

補助率1/2以内 限度額受講者1名2.5万円
1事業者10万円

空き工場等活用事業補助金

市内の空き工場等を利用して、新商品の開発等を行う場合、工場等賃借料を補助します。

補助額 賃借料の1/2以内 限度額8万円/月
期間12カ月

企業事務所誘致事業補助金

上場企業等が市内に事務所を新規開設等する場合、賃借料を補助します。

補助率1/2 限度額最大800万円
補助期間最長5年間

※事務所を取得する場合も別途補助が適用されます。

工場等設置事業助成金

工場団地等で、工場を新設、増設する場合、固定資産税相当額を助成します。

助成期間3年間

テレワークオフィス設置支援事業補助金

ICT技術を活用して、若者、女性、IJUターン者へ新しい働き方を提供するため、新しく事務所を開設する企業を支援します。

補助額 賃借料の1/2以内 限度額7.5万円/月
補助期間12カ月

このほかにも、様々な補助制度があります。

松本市地域中核企業 支援事業補助金

松本市工業ビジョンで重点産業に位置付けた食料品製造業の推進のため、経済産業省の支援を受けながら、食料品・飲料製造事業者向けの補助金を令和2年度に創設しました。

1.対象事業者

松本地域農商工連携ブランド化推進協議会が認定する地域中核企業

- (1)経済産業省により地域未来牽引企業の認定を受けた企業
- (2)地域未来投資促進法に基づき、長野県から地域経済牽引事業計画の認定を受けた企業
- (3)地域再生法に基づき、長野県から地方活力向上地域特定業務施設整備計画の認定を受けた企業
- (4)その他、他分野を含め域内の他の事業者に大きな影響を及ぼす企業

※地域資源活用振興事業計画の認定事業者等

2.補助内容

	区 分	新 制 度
ア	活性化支援事業	・ 地域中核企業の実施する新製品・新技術の研究・開発に係る費用 補助率2/3以内 限度額500万円 3回以内
イ	販路拡大支援事業	・ 地域中核企業の実施する海外展示会への出展 出展料及び借上料：補助率10/10 輸送費、通訳費、渡航費：補助率1/2 限度額100万円 3回以内 ・ 海外E Cサイトの開設・出展等初期費用、口座開設、知的財産権出願等：補助率10/10 海外広告・宣伝等：補助率1/2
ウ	施設等整備事業	・ 地域中核企業が拡張、移転等に伴い事務所、工場等の新・増設を行う場合、その整備に係る費用 補助率1/10以内 限度額1,000万円

(農政課マーケティング担当)

松本市では、松本市工業ビジョンの重点的推進事項の1つとして食料品製造業の重点的な推進を掲げています。

松本市農政課では、商工課や（一財）松本ものづくり産業支援センター等と連携しながら、農業者や食品製造業者の橋渡しを行っています。地元産農産物の原料供給先を探している、規格外の農産物を有効活用したい、農業者と一緒にあってお土産品を開発したい等、さまざまなニーズに対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

農業者以外の方も活用できる支援策として次の制度があります。

6次産業化支援事業補助金

産業力の向上及び地域活性化を目指して、生産及びその加工又は販売を一体的に行い、農産物の付加価値を高める取組みに対し、補助金による支援を行います。審査会委員には、販売戦略や販路等さまざまな分野の専門家を招聘し、支援体制を強化しています。

「松本市地産地消推進の店」になることで、農業者以外の皆様もご活用いただける制度です。

補助対象者

- (1) 農業者、農業者で組織する団体又は農地所有適格法人
- (2) 市内で農産物直売所を運営する者
- (3) 松本市地産地消推進の店として登録された店舗の経営者（具体的には下記）

補助内容：補助額

人材育成

補助対象経費：販売、加工及び経営の強化並びに技術の向上に関する研修会等参加経費（受講料、旅費等）

補助額等：上限2万5千円（補助率1/2）

商品開発

補助対象経費：新たな商品開発に要する経費（研究開発を伴うモニタリング費、パッケージ開発費）

補助額等：上限100万円（補助率1/2）

販路開拓

補助対象経費：EC サイトを利用し、新たに地元農産物の販売を行うことに要する経費（EC サイト運営会社に支払う利用料及び手数料）ただし、同一年度内で6か月以内

補助額等：上限20万円（補助率1/2）

販路開拓

補助対象経費：県外又は海外における販路開拓のための物産展への出展及び直売所交流等に要する経費（出展負担金、デザイン費、印刷費、資材費、広告費、通信運搬費、輸送費、旅費、装飾備品借上料、筆耕翻訳費）

補助額等：国内（長野県外）
上限25万円（補助率1/2、出展負担金のみ10/10）
海外上限50万円（同上）

利子補給

補助対象経費：施設整備等に係る借入金に対する利子及び信用保証料ただし、新たな商品開発に伴う施設整備に係るものに限る。

補助額等：利子補給期間60カ月以内
（補助率 利子1/2、信用保証料4/5）

その他

販路開拓については、年1回、通算3回まで申請できます。（類似する市補助金との併用不可）
当該年度中に、国・県の補助金等の交付を受けた場合は対象外です。（利子補給は除く。）

「松本市地産地消推進の店」登録制度

地産地消を推進するため、松本地域産の農畜水産物及びその加工品を積極的に取り扱う市内の飲食店等を「松本市地産地消推進の店」として登録し、広く周知する制度です。登録事業者には登録看板を交付します。

- 松本地域産品とは…………… 農産物は松本市、塩尻市、安曇野市及び東筑摩郡産のもの
畜水産物は長野県内産のもの

- 飲食店、宿泊施設等…………… 松本地域産品を主とした複数の料理を年間又はシーズンで
店内表示・提供
- 食品加工事業所等…………… 製造する加工食品の主な材料が松本地域産品で、商品にその
旨を表示
- 直売所、小売店、量販店等……… 松本地域産品の売場を設置し、わかりやすく表示・販売
（概ね8カ月以上）

（登録看板）

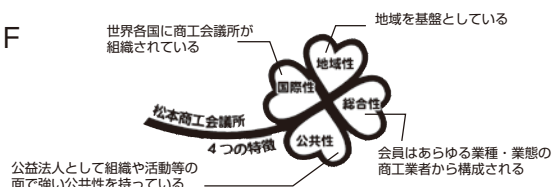


お問い合わせ：松本市役所産業振興部農政課 マーケティング担当 ☎390-8620 松本市丸の内3番7号 電話34-3221

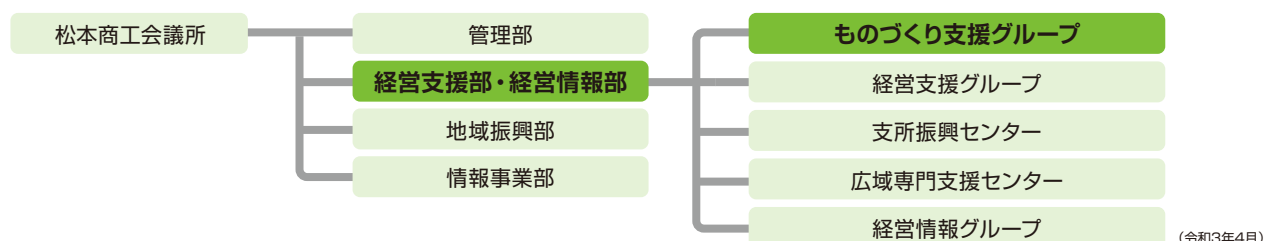
(2) 松本商工会議所（経営支援部 ものづくり支援グループ）

1.所在地

〒390-8503 長野県松本市中央1-23-1 松本商工会館 1F
TEL.0263-32-5350
FAX.0263-32-1482
ホームページ:<https://www.mcci.jp/>



2.組織



3.令和3年度重点事業

創立113周年となる本年度、地域総合経済団体としての使命を改めて認識し、「より多くの支持と信頼を得られる商工会議所」を目指して、コロナ禍の中、真に必要とされる商工会議所として各種支援事業を推進して参ります。

ものづくり企業支援事業

1.まつもと広域ものづくりフェア

2021年11月23日（火・祝）～24日（水）

会場：23日Mウイング 23・24日松本商工会館

昨年度中止となったまつもと広域ものづくりフェアを今年度は日程・会場を変更して開催します。実施事業は松本広域の将来を担う子どもたちにもものづくりや理工学に関心を持ってもらうイベントの開催。また一昨年度に引き続き、販路開拓を目的としたビジネス商談会の開催、地域企業の人材確保や知名度の向上に繋がる企業展示会を開催します。

2.中南信エリア

自慢の逸品発掘・売込逆商談会

開催方法、時期、会場 調整中

中南信27商工団体が推進役を担い食品製造業者とバイヤー企業との食品商談会を開催します。WEB商談会または対面式での商談会を開催し、中南信の食品製造業者の販路拡大を支援します。

3.次世代現場リーダー養成

（松本機械金属工業会共催事業）

製造業者の経営力向上を目的に、将来を期待されている製造現場や管理現場におけるリーダーの養成と現場改善を目的に開催します。

4.各種補助金申請支援・事業計画策定支援

新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるため、前向きな事業展開に取り組む事業者を支援する各種補助金制度（小規模事業者持続化補助金・ものづくり補助金・事業再構築補助金など）の申請支援と、事業計画策定支援を実施しています。

5.従業員向け能力開発研修会・セミナー

松本市中小企業能力学院（松本商工会議所研修センター）において、従業員のスキルアップに関わる資格対策、人材育成といった各種研修会を開催。また松本市製造業等人材育成補助金の活用を推進します。（実施例）日商簿記受験対策、初級管理者養成、現場リーダー養成、労務人事管理、WEB活用セミナー、構造物鉄工作業技能士受験対策、とび技能士受験対策等

6.松本工業高等学校への支援

関係機関との共催事業として実習用工具支援、松本工業高等学校人材育成支援ネットワークと連携して、生徒による企業見学、高校での企業説明会等を実施しています。

7.貿易証明書発行

原産地証明書・インボイス証明・サイン証明等の発給を通じて、企業の海外取引等をサポートします。

松本商工会議所本所と（一財）松本ものづくり産業支援センターで発行可能です。

8.関係団体、関係機関との連携

松本商工会議所ものづくり工業部会をはじめ、松本機械金属工業会・青年部、中信溶接協会・松本工業高等学校人材育成支援ネットワーク等の団体、松本ものづくり産業支援センターなど支援機関との連携をして参ります。

(3) 信州大学 学術研究・産学官連携推進機構

1.所在地

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号 (信州地域技術メディカル展開センター1階)
TEL.0263-37-2091 FAX.0263-37-3049
Mail:ken-sui@shinshu-u.ac.jp
ホームページ:<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suirlo/>

2.信州大学 学術研究・産学官連携推進機構の紹介

大学には、基本的使命として「教育」と「研究」に加え、第3の使命「社会貢献」が求められています。信州大学は、教育、研究の付加価値を高め、知の成果を積極的に社会へ還元するため、産学官連携を積極的に進めています。その窓口として、学術研究・産学官連携推進機構を位置づけています。

◆知(地)の拠点の活用&大学内のインキュベーション施設

松本、伊那、佐久、善光寺の主要4圏域に配置されたキャンパスと学内のインキュベーション施設。各インキュベーション施設は、共同研究等のために活用できます。

長野(教育)キャンパス	長野(工学)キャンパス	上田キャンパス	松本キャンパス	伊那キャンパス
◎所在地/長野市 ◎学部/教育学部	◎所在地/長野市 ◎学部/工学部 ◎インキュベーション施設 /信州科学技術総合振興 センター(SASTec)、国 際科学イノベーションセ ンター、長野市ものづく り支援センター(UFO)	◎所在地/上田市 ◎学部/繊維学部 ◎インキュベーション施 設/ファイバーイノ ベーション・インキュ ベータ施設(Fii)、先 進植物工場研究教育セ ンター(SU-PLAF)、 オープンベンチャー・イ ノベーションセンター (OVIC)、上田市産学 官連携支援施設 (AREC)	◎所在地/松本市 ◎学部/人文学部、 経法学部、理学部、 全学教育機構(共 通教育)、医学部 ◎インキュベーション 施設/信州地域技 術メディカル展開セ ンター(CSMIT)	◎所在地/南箕輪村 ◎学部/農学部

◆先鋭領域融合研究群(部局横断型研究)

- (1)新たな学問領域の創出を視野に、学際・複合・新領域に取り組み、社会実装までを見据えたイノベーションを起こす「先鋭材料研究所」、「バイオメディカル研究所」、「社会基盤研究所」の3つの研究所。
 - (2)特定領域において、本学の個性と特徴ある研究を集約し、信州大学の強みを伸ばす「国際ファイバー工学研究拠点」、「山岳科学研究拠点」、「航空宇宙システム研究拠点」の3つの研究拠点。
- 先鋭領域融合研究群の詳細はホームページをご覧ください。

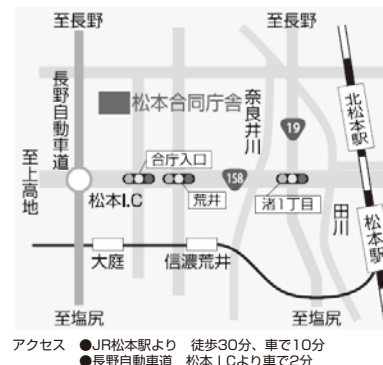
◆SOAR(信州大学 研究者総覧・機関リポジトリ)

<http://www.shinshu-u.ac.jp/soar/index.php>
信州大学の研究者の情報と研究成果を確認いただけます。
共同研究、受託研究等、連携のための検索にお役立てください。

(4) (公財) 長野県テクノ財団 アルプスハイランド地域センター

1.所在地

〒390-0852 長野県松本市大字島立1020 松本合同庁舎内
TEL.0263-40-1780 FAX.0263-47-3380
Mail:alps@tech.or.jp
ホームページ:http://www.tech.or.jp/alps/



2.組織

長野県テクノ財団は本部と5か所の地域センターからなり地域産業をサポートします。

アルプスハイランド地域センターは、松本市、安曇野市、塩尻市、大町市及び北安曇郡、東筑摩郡、木曽郡の町村を担当しています。

3.メンバー構成 (2021.4月現在)

事務局長、テクノコーディネータ、コーディネータ、事務職員

4.業務内容

(1) 設置目的

長野県における地域産業資源を活用しつつ、技術革新による地域産業の高度化と産業創出を促進し、地域経済の活性化と自立化に資することを目的とする。

(2) 具体的業務内容

- ・産学官連携による先端技術研究開発の促進支援および新規事業の「シーズ」探索
- ・大学等と企業との人的交流を活性化させるためのネットワーク構築支援
- ・技術者や経営幹部育成のための研究会やスクールの開催

5.2021年度事業計画

I、産学官交流事業

- 1、アルプス広域コーディネータ連携事業
- 2、大学・高専・企業との産学官連携交流事業

Ⅲ、共同研究等推進事業

- 1、提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援事業
- 2、提案公募型等研究開発プロジェクト運営事業
- 3、提案公募型等研究開発プロジェクトフォローアップ事業

Ⅱ、新産業創出支援事業

- 1、コーディネート活動事業
- 2、[拡] アルプスイノベーション研究会事業
- 3、「旬」の技術研究会事業
- 4、松本地域産業活性化事業
- 5、[拡] 中农信自動化支援事業

Ⅳ、人材育成事業

- 1、技術者のための実務教育パワーアップ講座事業
- 2、地域企業人材挑戦力育成事業
- 3、価値づくり力パワーアップ講座事業
- 4、夏休み親子ものづくり教室事業

V、広報等事業

- 1、情報発信サービス

関係機関 (市外局番0263)

松本市 産業振興部 商工課 工業振興担当 / 健康産業推進担当

TEL.34-3270 FAX.34-3008

TEL.34-3296 FAX.34-3297

松本市 産業振興部 農政課 マーケティング担当

TEL.34-3221 FAX.36-6217

松本商工会議所 中小企業振興部ものづくり支援グループ

TEL.32-5350 FAX.32-1482

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構

TEL.37-2091・3527 FAX.37-3049

(公財) 長野県テクノ財団 アルプスハイランド地域センター

TEL.40-1780 FAX.47-3380 (長野県松本合同庁舎内)

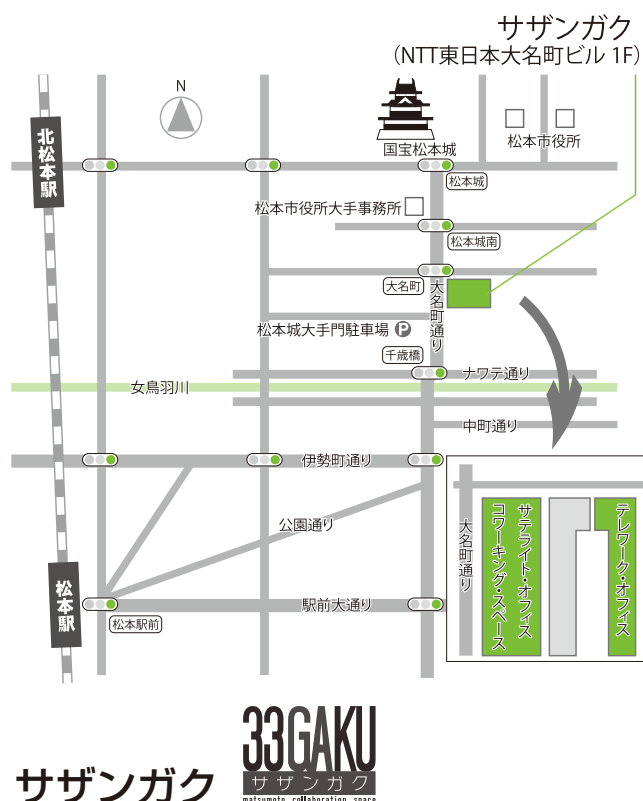
(一財) 松本ものづくり産業支援センター (松本市情報創造館庁舎 1F)



一般財団法人

松本ものづくり産業支援センター

〒390-1242 長野県松本市和田4010-27
TEL.0263-40-1000 FAX.0263-40-1001
ホームページ <https://www.m-isc.jp/>



サザンガク

matsumoto collaboration space

〒390-0874 長野県松本市大手3-3-9
TEL.0263-33-0339
ホームページ <https://33gaku.jp>

- ☐ テレワークオフィス
- ☐ コワーキングスペース
- ☐ サテライトオフィス